



2025年5月13日

各位

会社名 株式会社京都ホテル
代表者名 代表取締役社長 福永 法弘
(コード：9723 東証スタンダード)
問合せ先 取締役経理部長 井手 章
(TEL：075-211-5111)

「第3次中期経営計画」策定に関するお知らせ

株式会社京都ホテル（本社：京都市中京区、代表取締役社長：福永法弘、以下「当社」とする）は、2026年3月期から2028年3月期までの3ヶ年を対象とする「第3次中期経営計画」を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 策定の目的

当社は、1888年（明治21年）に国際観光都市・京都で創業し、2028年には創業140周年を迎えます。厳しいコロナ禍を乗り越えた今、持続可能なホテルを目指し、より盤石な経営基盤の確立を実現すべく中期経営計画を策定いたしました。

つきましては、以下の中期経営計画ビジョンを掲げ、重点施策に取り組んで参ります。

※本資料に記載されている数値目標等の将来に関する記述は、当社が現在把握する情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因より大きく変わる可能性があります。

2. 中期経営計画ビジョンと重点施策

コロナ禍を生き抜いた今、「第二創業」の決意も新たに、お客様、お取引先、株主、従業員、その他全てのステークホルダーにとって、「WIN-WIN HOTEL」たらんことを目指す。

【重点施策】①収益力強化 ②協働力強化 ③人材の確保・定着 ④財務基盤強化
⑤SDGsに係る取り組み

3. 取組事項

① 収益力強化、② 協働力強化

- 商品・サービスの付加価値向上
 - ➡ 改装※による施設競争力の維持強化
- 販売価格の適正化
- 基盤となる顧客との関係強化
- 会員利用促進と活用
- 多様な顧客の取り込み
- パートナー企業やテナント等ステークホルダーと協働、WIN-WIN 関係を構築
- 生産性の向上

※改装の概要（予定）

工事対象：ホテルオークラ京都の客室全般

期間：2026 年から 2029 年

投資額：約 40 億円

③ 人材の確保・定着

- 多様な人材の確保
- エンゲージメントの醸成
- 人材教育

④ 財務基盤強化

- 内部留保による純資産改善
- 適正な資本配分
- 投資と借入のコントロール

⑤ その他

SDGs に係る取り組み

4. 数値目標

(単位：百万円)

	2025 年 3 月期 (実績)	2026 年 3 月期 (計画)	2027 年 3 月期 (計画)	2028 年 3 月期 (計画)
売上高	9,358	9,500	9,100	9,000
営業利益	916	850	590	450
当期純利益	771	600	350	200

※上記数値に関しましては、改装に伴う客室売り止め等の影響を受けた数値となっております

以 上